

# 旭日地区生活支援講演会のまとめ

日時：平成 29 年 8 月 27 日（日）9：00～10：40  
場所：旭日小学校 体育館

旭日地区の方々を対象にこれからの自分たちの生活を考える『生活支援講演会』を実施しました。今回は回覧板・全戸配布のチラシと、区長・班長等みなさんの声かけで参加者を募りました。正直何名参加するのか不安はありましたが、みなさんの関心はとても高く、予想を超える参加をいただきました。前日には、旭日地区のみなさんで会場準備を行いました。

【①講演会】では、『これからのみなさんの生活はこう変わりますよ！！』との田中先生の現実に即した話に、参加された方は驚きながらも真剣に自分たちのこれからの生活を考えるきっかけとなった様子でした。

また、後半の【②活動報告】は、今年 4 月から住民による支え合い活動を本格的に取り組み始めた上国崎地区の猪部副会長から、住民目線での活動報告とニーズ調査の必要性等の貴重なアドバイスをいただきました。

最後に参加者のみなさんから【③アンケート】をいただきました。今後、旭日地区では『住民が何に不安を感じているのか』『これから旭日地区で何ができるか』を考えていくためのニーズ調査に役立てていきます。

会場となった旭日小学校の阿南校長先生はじめ職員のみなさんには、会場設営などご支援いただいたことに心から感謝いたします。

## 【①講演会】



講師：田中尚輝先生

講師は、NPO法人市民福祉団体全国協議会の専務理事で、介護保険制度などに大きく関わられ、厚生労働省とも強いつながりのある方です。  
講演では、介護・医療・福祉制度の国の動向等を中心に、これから住民同士のお互いの支え合いがいかに大切になってくるのかわかりやすく厳しく伝えていただきました。

## 【②活動報告】



副会長：猪部よしの氏

上国崎地区ではあらたに会を中心に、地域での支え合い活動を具体的につくりあげていくためには、まずは住民のつながりを今以上に太く、広げることが大切と考えた。昨年 12 月に『気軽な居場所』をまず立ち上げた。居場所では、カフェや食事、体操教室やレクリエーションを実施。歩いて通えない方のためには送迎支援も行っている。その活動を支えるのは、地域のボランティアの方々。今では、居場所を通じて賛同者が次々と現れはじめ、とても楽しみながら活動をしているとのこと。

そのきっかけとなったのが『ニーズ調査』。全住民を対象に、各家庭の困りごとや、要望事項を聞きました。  
『すみれ会やあさひ SUN などのボランティア組織のある旭日地区ならきっとできる』と旭日地区の皆さんにエールを送ってくれました。参加されたみなさんが、上国崎の取組みに関心を持ってとても熱心に話を聞かれていたことが、アンケート結果からもよくわかりました。

～活動開始までの経緯～



※詳細(上国崎地区の取組み)について知りたい方は、ご連絡ください。

## 【③アンケート】



みなさんから“たくさんのご意見・感想”をいただきました！！ありがとうございます。

参加されたみなさんから多くのご意見や感想をいただくことができました。  
アンケートの中で「今後旭日地区でもニーズ調査（アンケート）を実施しようと考えています。その時に、ご協力いただけますか？」との質問になんと **47名！！**の方が「協力したい」**35名**の方が「興味がある」との回答をいただきました。また、今回は都合で参加出来なかった方の中にもそうした気持ちがある方もいるかもしれません。ありがたい限りです。

※裏面には、アンケート集計やご感想やご意見を記載しています。ご覧ください。

ご参加・声かけ  
ありがとうございました！！

主催：旭日地区区長会・旭日地区公民館

【問い合わせ】 国東市社会福祉協議会 福祉支援課 TEL:0978-74-0333



# アンケートより

## 旭日地区生活支援講演会(29.8.27) アンケート集計【回答率:84%】

101名の方から、アンケートをいただくことができ、約9割の方より氏名記入をいただきました。今後の取組みの参考にさせていただきます。

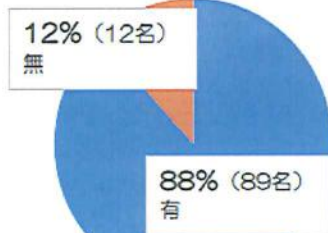
参加者は、男性が43%と女性が56%、年代は70代の参加が一番多くなっています。

講演会の内容については、91%の方が関心のある内容であったとお答えいただいております。活動報告の内容についても、81%の方が関心のある内容であったとお答えいただいております。

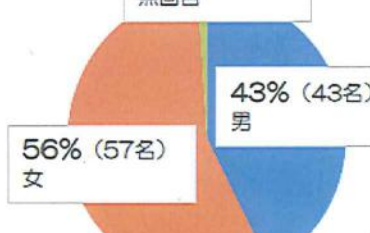
また、住民同士の支え合いのしくみの必要性についても96%の方が感じている集計となりました。また、今後何か取り組んでみたいとの積極的な回答も多数いただき、旭日地区でのニーズ調査をする場合、具体的に47名の方が「協力したい」35名の方が「興味がある」と前向きな回答でした。

今回の生活支援講演会を通じて、お互い地区の現状をどうにかしなければと考えながら生活していることが、少しみえてきたように感じました。

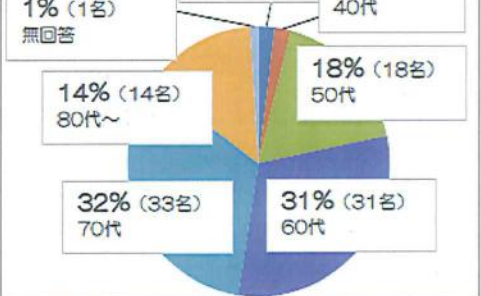
●氏名記入の有無



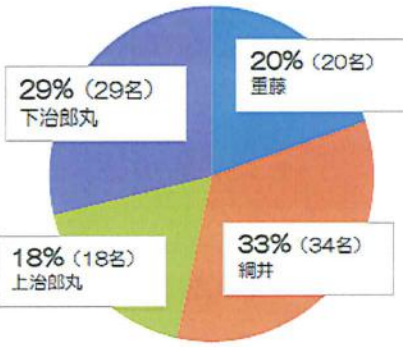
●性別



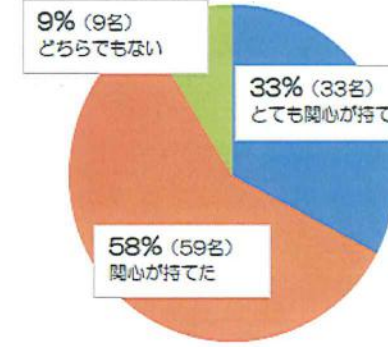
●年代



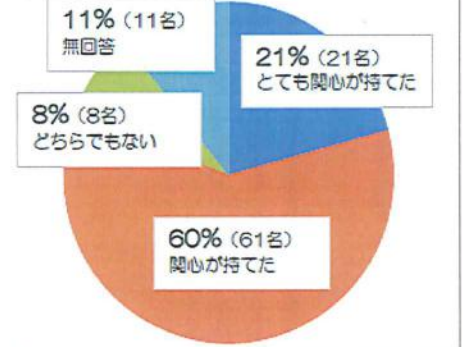
●地区



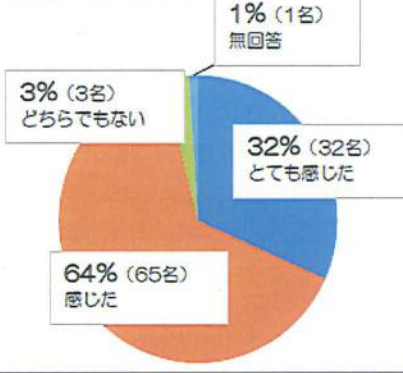
●田中氏の講演について



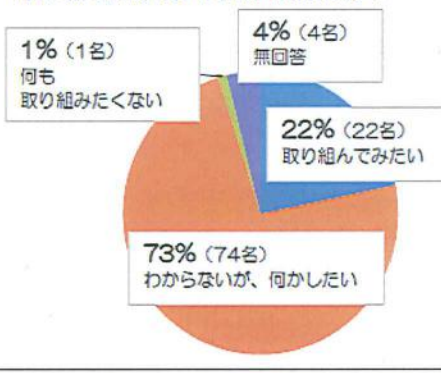
●上国崎の活動報告について



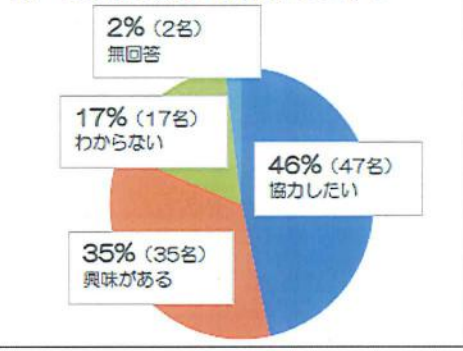
●住民同士の支え合いのしくみが必要だと感じましたか？



●講演会や活動報告を聞いて、あなたも何か取り組みたいと思われましたか？



●旭日地区でも地域のニーズ調査(アンケート調査)を実施しようと考えています。その時に協力いただけますか？



本日の講演会のご感想やご意見をご自由にお書きください。

(※自由記載 原文どおり)

●あらたにカフェの運営資金についてきてみたかったです。 ●大変良い講演を聞かせてもらった。家内が要支援になって、社協にお世話になったのですが、自分が動けなくなったらと先行きが心配ですが、考えさせられました。人の善意にたよることなく何らかの取り組みが必要と考えます。 ●お話を聞いて色々気づく事が多々ありました。今後の参考にしたいと思えます。 ●スタッフは・・・、誰がいるの(この思いはネガティブですか) ●まず出来る事から進めてはかかですか。 ●老人クラブの活動が活発なので、この働きをベースにして地区民の意識調査を望みます。 ●共助、少しずつ出来る事から始めたいと思えますが、夏や冬は自信がありません。 ●田中先生のお話は大変良かったです。2000年に介護保険が始まって、17年。たった20年たらずで、この介護保険がなくなるとは・・・。見通しのあまさを感ずります。 ●上国崎の人のビデオを見て生き生きした姿にうらやましく感じました。 ●興味のある話であったので大変良かったと思えます。勉強になりました。 ●人のお世話は出来ませんが協力はしたいです。 ●ちょい加勢等出来る事はあると思った。 ●親戚(86才、83才)の買い物等手伝って、私の老後はだれが手伝ってくれるのか心配しています。今日の先生のお話を聞いて理解はしましたが・・・。どうかかわっていただけるのか？今はまだ??です。 ●お話を聞いて大変素晴らしいことだと思えますが、資金、人材等運営するには苦労があると思う。楽しく年齢を重ねたいですね。何が出来るかわかりませんが、出来ることがあれば少しですが、お手伝いしたいと思います。 ●自分が高齢になった時の事を考えさせられました。 ●何しろ高齢となり人様のお世話が不可能と思う事、残念です。参加には同感ですが、御迷惑をかける事が明らかです。 ●将来一人住まいになった時の事を考えて集まる場所があれば気軽に行け、だれかが助けてくれる居場所があればいいと思った。 ●資金、助成金について。食事、送迎等で事故があった場合はどうする。 ●ニーズ調査により課題をあげて、その課題に向けた対策を講ずるべきです。高齢者以外にも地域に課題があります。 ●将来、老後について考えることが多くなったこの頃です。今、自分が何をしたいかわかりませんが、自分でもできることがあれば協力していきたいと思っています！

●できれば協力したい。 ●費用、組織、リーダー、スタッフ、運営等、どうするか。積極的に活動して作りあげ正常化まで行くか？ ●具体的なイメージがわかなかったが、今日のお話で活動の必要性やイメージが理解出来ました。 ●課題は自主財源をいかにして確保するか、これをしっかり事前に話し合っておく必要あり。 ●移動手段をいかにして確立するか、これが大事。 ●旭日地区の文化を養い育てようという取組意識がまず欠かせない。 ●田中先生の講演はこれからの高齢化集落の本質を話してくれ、自らが時代の変化を気づき出来る時に出来ることをやってみよう。 ●上国崎の取り組みが具体的に聞いてよい勉強になりました。 ●お互いに少しでもまわりの人と協力し役にたったらとお話を聞き、実施していけたらと思えます。 ●「時代がかわった。」ではかたづけられない？ ●旭日地区がますます元気になるよう、是非実現させましょう。 ●自分は活動に協力はしたいと思っています。でも、自分が年を取った時、協力者はいるのか？ ●個々の考えが違う為に大変な事と思うが、少人数からでも始めて地域全体に輪を広げて行きたいと思っています。 ●まだ仕事をしているので、良いことだと思えますが、自分が一人になった時は必要な・・・と思いました。 ●これからは、地域のたすけあいが必要だと思いました。 ●まだ、先の事しか考えなかったのですが、先生のお話を聞いて、子ども達にも話して行こうと思っています。 ●自分がひとりになった時のことを考えると不安になります。何かしなければと思いつつ、何をしたいかわかりません。人との接し方がながてな私でも、何かできることはないか？ ●今後は必要とされる取組と感ずっています。ただ、自分がこの取組に、どう参加出来るのか不安な部分も多々あります。 ●今は主人と二人で暮らしています。これから一人になった時の事をしっかりと考えて行きたい。地域の方といつもお互いに助けに行きたい。自分の出来るボランティアをして行きたい。 ●介護、福祉、医療、講演を聞きずい分ためになりました。上国崎の活動報告も大変関心がもてました。一人一人の参加の輪は大変素晴らしいと思えます。 ●貴重な話を解り易く話してくださいました。ありがとうございました。 ●必要性は感じたが、もし事故や何か事が起こった時は誰が、どこが責任を取るのか等問題があると思う。有料にしたらとの事ですが、有料で人を運んでいたら白タクになる等は？ ●あらたにカフェの猪部さんの話は具体的に良かった。これからは、この様な活動が必要になるのだろうと思う。